

Hand in Hand

逐次刊行物

09.5.20

国立女性教育会館
女性教育情報センター

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚——それは旅の半ばの一つの出来事。
新たな旅立ちをした女たちはいま手を取り合い、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。
ハンド・イン・ハンドは、生きやすい社会をめざし支えあう女たちの、流木である。

Vol.245

〔ヒューマン・ニューディールで不況の克服を〕

■トヨタ、パナソニック、ソニーといった我が国の代表的企業が軒並み業績を悪化させ、非正規だけでなく正規社員の雇用すら守れなくなってきました。この傾向は今後さらに広がるでしょう。

■こうした中、ワーキングプアの典型である母子家庭の生活状況がさらに悪化するのではないかと危機感を持っています。我が国はそれでも世界第2の経済大国であり、1日1ドル以下で暮らしている人々が何億人もいる世界の中では、貧困といっても、もちろん相対的なものです。しかし、実はOECD諸国の中で2番目に貧困率が高くなっています。子どもの貧困率は約14%、7人に1人の子どもが貧困という状況です。1億総中流は遠い昔の話になりました。日本全体の世帯の中で母子世帯の占める割合はたった1%ほどですが、貧困層に分類される子どものうち、2割から3割が母子家庭の子どもなのです。

■そこで、4月25日にはハンドの合宿を兼ねて「脱・子どもの貧困サバイバル大作戦」というイベントを開催して多くの人々にこの問題に関心を持ってもらおうと、実行委員会がたくさんの方ボランティアの人たちが企画の準備をしてくれています。

政治家としては、私は1929年の大恐慌をも上回る恐れがあるこの危機と厳しい現状に対処しようと「ヒューマン・ニューディール」を実行しようと思っています。

■6年前から母子家庭のお母さんたち約1000人を対象に、IT型で在宅就労支援を進めてきました。在宅でデータのやり取りをする技術的問題等も多くの人々の知恵でクリアできていますし、データ入力やコンテンツ作成の需要は市場規模が現状でも3兆円に達し、今後はさらに増大すると見込まれています。

■このIT型在宅就労は、派遣切りで家や仕事を失った人でも、アパートとパソコンを貸与すればすぐにも日銭を稼げるし、ワークシェアリングで減収になった人もその不足分を確保できるという当面の支援策になります。それだけでなく、車で通勤するために消費されるエネルギーや通勤で生じる渋滞の経済的損失、さらに渋滞解消の名目で建設されるバイパスなどの道路や公共投資の過剰なコスト——こうした無駄も、私たちが当然と考えているライフスタイルを改めることで、実はもっと柔軟に考え直すことができるのです。

■当然と考えているライフスタイルの典型が都心のオフィスに満員電車で通勤し、長時間勤務と通勤に疲れて地域や家庭を顧みる余裕のない生活、自然と隔離したコンクリートの中の生活です。

私たちは不況の今こそ、既存の就業形態を大幅に変えて、在宅就労システムでライフスタイルを省エネ型、人間中心型、地方分権型にして、地域コミュニティを活性化するべきではないかと思っています。

もちろん介護や医療、子どもの教育、失業者の再訓練等にもIT型在宅就労システムは有効です。

基本は人です。人々が学ぶ喜び、働く喜び、人に役立つ喜び、愛する喜びを持てる社会をつくり出すことがヒューマン・ニューディールであって、地域のコミュニティの崩壊、家庭や地域に関心を持たない会社人間、環境問題、介護問題等々を放置したまま、新しい産業を作っても景気を浮揚させようとしても、それが本当に幸せな社会だとは私は思えないのです。

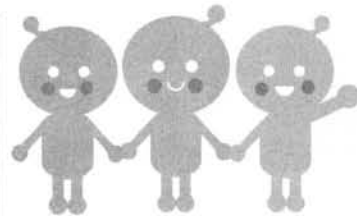
■ヒューマン・ニューディールをもっと肉付けし、多くの人に理解してもらい、必ず実行していきます。
(円より子)

さあ
旅立ちの
時
光の中へ
飛び出そう

画と書：浅野照子



日本の4/25 かぞくの根、ちいきの輪 脱・子どもの貧困 サバイバル大作戦 シンポジウム



えっ！日本の子どもの7人に1人は貧困！？

離婚講座から30年。市場第一主義や金融危機でひとり親家庭の生活状況は深刻化し、子どもたちの成育環境も悪化しています。これは、子どもの将来、ひいては社会全体へ影響する問題であり、自己責任や競争原理では片付けられません。子どもは社会全体で育てるもの、子育て費用は社会全体で負担するもの。そうした発想の転換が、社会と政治に求められているのではないのでしょうか。

このシンポジウムは、こんな現代社会を明るく生き抜く方法を考え、日本の子どもと親がもっとHAPPYな環境で生きる社会の実現を目指す第1歩。誰かが変えてくれるのを待つのではなく、私たちが変えましょう！

お友達やご家族とご一緒に、全国からのご参加をお待ちしています。

●日時：2009年4月25日（土）13:00開場～16:30終了

●会場：国立オリンピックセンター センター棟

東京都渋谷区代々木神園町3番1号、TEL.03-3469-2525

小田急線参宮橋駅から徒歩7分 千代田線代々木公園駅4番出口から徒歩10分

●参加費：1,000円（当日支払い。払える方のみ、子ども無料）

●プログラム：

【第1部】13:30～15:00 パネルディスカッション「子どもの貧困とこれからの課題」

〈パネリスト〉藤原和博氏（元杉並区立和田中学校長）、村木厚子氏（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長）、
駒崎弘樹氏（NPO法人フローレンス代表理事）、兼司会：円より子氏（参議院議員）

〈会場〉セミナーホール（定員300名）

【第2部】15:15～16:30 分科会（定員制、予約先着順。詳細は下記HPかお電話で!）

－A シングルマザーの労働状況とこれからの雇用（定員40名）

－B 子どものための地域・コミュニティの可能性（定員40名）

－C 安心子育て国家のあり方を考える（定員40名）

－D 参加型「貧困サバイバル実践コーナー」（定員160名、入退場自由）

貧困お役立ちミニセミナー、無料相談コーナー（法律、養育費・面接交渉、生活保護等）、子ども向けコーナー他、役立つ企画を準備中

※分科会Aにはハンド会員も出演予定。終了後はハンド会員だけの合宿もあります（右頁参照）。

〈主催〉子どもHAPPY化計画実行委員会 <http://www.kidsdoor.net/hinkon/>

ハンド・イン・ハンドの会、キッズドアプロジェクト、NPO法人チャリティ・プラットフォーム、
日本ペアレンティング協議会、NPO法人あごら、市民有志

シンポジウム **申込み方法**
締切：4月15日（火）

一般公開イベントですので、お早めにお申込みください。

「ハンド会員・4/25シンポ申込み」とし、氏名、電話、参加希望分科会1つ（A～D）、子ども連れの場合は年齢・人数を明記してください。

※併せて合宿に参加を希望する場合は、右頁の申込み方法を参照。

〈ハンド・イン・ハンドの会 事務局まで〉

✉メール：info@gendai-kazoku.jp（携帯からも送れます）

TEL：03-3261-1835（平日10時～18時） FAX：03-3261-1836（24時間受付）

脱・子どもの貧困シンポジウム 関連イベント

4/25・26 春のハンド合宿 2009のお知らせ

左のシンポジウムの後にハンドの同窓会を泊まりがけで行います♪もちろん円より子も参加。初めての方も久しぶりの方も全国の仲間と語り合い元気になりませんか。翌日の解散の後はオープンカフェでお茶をするのも、代々木公園を散策するのも、ウインドーショッピングもできます。もちろん子連れの参加も歓迎!

●日程：4月25日(土)・26日(日)

25日 17:00～19:30 夕食、入浴

19:30～21:30 円を囲んでの懇親会

26日 7:00～9:00 朝食、部屋の清掃

10:00 解散

●会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

●定員：40人

●宿泊費：大人4,500円、小学生以下4,000円。

(2食付、子どもは傷害保険料込み)

●申込み方法：左頁のシンポ申込み時に「合宿も参加」とし、参加者全員の氏名、生年月日、住所を併せてお伝えください。手紙でもOK。合宿のみの参加の場合は、その旨を書き添えて。

「経済危機から生活を守る! 女性の雇用問題とその対処」

経済危機で解雇、降格、賃金カットといった厳しい雇用状況に直面している方、不安になっている方も多いのではないのでしょうか。そうした状況から生活を守るための対処方法を学ぶ・相談するチャンスです!

3/14 特別公開講座

母子家庭問題に詳しい赤石千衣子さんに、金融危機後の最新事情と、トラブルに直面した際の対応方法全般を教えてください。

日時：2009年3月14日(土) 10:00～12:00

テーマ：「女性の雇用問題と対処法」

講師：10:00～10:30 円より子さん

10:30～12:00 赤石千衣子さん

(NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事)

会場：東京都千代田区麹町 2-8 麹町区民館

B1 階洋室 C TEL03-3263-3831

参加費：会員 1,000 円 一般 2,000 円

定員：35 名

申込み：3月13日(金)18時までに事務局まで。

4/3・4 無料電話相談

「女性と雇用 110 番」

TEL：03-3261-1835

現在、具体的に雇用・経済面で困難に直面している方や、しそうな方の個別相談に乗ります。一方的な賃金カットや降格、解雇などで住居や子どもの教育費等に困っている方、解決策・生活を維持する方法を専門の相談員と一緒に考えましょう。下記時間帯にお気軽におかけください。

4月3日(金)18:00～21:00

4月4日(土)13:00～17:00

※4台で受付。通話料のみがかかります。



待っています!



「雇用・経済状況アンケート」ご協力をお願い

昨年からの経済危機がひとり親家庭に与える影響について、同封のアンケートであなたの経済状況の変化・雇用状況の変化を教えてください。結果はハンドの会の活動を通じて政府や社会へ訴えていくほか、左記シンポジウムの広報・報告資料等に活用させていただきます。

締切：3月25日(水)必着 皆さんの声を届けます! ご協力お願いします!!

同封の返信封筒(切手不要)をご利用ください。※謝礼はありません。

離婚後

定年後

経済
悪化後

――・〈不連続シリーズ①〉――

この頃の 「仕事・就職」 事情



倒産、失業、派遣切り、リストラ、賃金カットetc.……昨年秋のリーマン・ショックに端を発した世界的な経済状況の悪化に伴い、各種メディアを通じて、こんな言葉がやたら目につくようになりました。そうでなくとも、シングルマザー家庭を取りまく雇用環境は厳しいのに、さらに厳しくなっているのではないかしらん？ 子育てと生計の二重負担に押しつぶされてはいないかしらん？ そろそろ定年を迎えるハンド会員も多いのだけれど、その後の就職事情や生計の立て方に不安が増してはいないかしらん？……などと、たくさんの疑問や心配が浮かんできます。

そこで、メールマガジンなどを通じて、「経済状況の悪化が、あなたの仕事や生計に与えた影響はありませんか？」「離婚後、あるいは定年後の、あなたの就職事情や職探しの顛末をお聞かせ下さい」と呼びかけました。生の声や体験談は、きっとみなさんの参考になるとと思いますし、行政へ働きかける材料・きっかけにもなるでしょう。

メールやインタビューを通じてお寄せいただいた声を、これから何回かに分けて紙面紹介してまいります。感想、ご意見、追加情報、そして「あなたの仕事・就職事情」もお寄せ下さい。メールやfaxだけでなく、電話や対面インタビューのお申し込みも大歓迎です。

(山崎・藤岡)

ケース1
定年後

“60歳の壁”を感じたとき ～その乗り越え方～

神奈川県・

・60歳

〈パーソナルデータ〉

- ※12年前に別居、離婚。婚姻中は、自営業の夫をサポートするが、基本は主婦業。この間、国民年金。
- ※婚姻前に5年間、一般事務職で勤務経験あり。
- ※簿記1級、珠算3級の資格あり。
- ※離婚後、昨年60歳で定年退職するまでの8年間、生命保険会社に営業職で勤務。年収は300万円前後（歩合制）。厚生年金、失業保険あり。
- ※昨年12月から、シルバー人材センターの斡旋で、スーパーのお惣菜部で、週4日、1日4時間、時給800円で働いている。月収5万円程度。
- ※年金を60歳から受給、月額2万2千円。段階的に増え、65歳からは月額8万5千円程度になる予定。
- ※婚姻中から加入している個人年金が、老後資金。
- ※現在、賃貸アパート(2K、家賃7万3千円)に、ひとり娘(25歳、会社員)と同居。

昨年の6月、ちょうど60歳の誕生日を迎えたのを機に、大手生命保険会社を定年退職しました。定年退職のタイミングは60歳と65歳のどちらかを選べたのですが、いくつかの理由から「60歳定年」のほうが私にとってはプラスになると判断したからです。

一つには、保険の営業という仕事は、営業成績を上

げなければ収入につながらず、自分の持っている人間関係や活動範囲の広さがモノを言います。私のそれは決して広くなかったし、これから広げていくのはキツイだろう、今後生きていけるだけの仕事量には至らないだろうという予測がありました。加えて、辞める前の半年ほどは、仕事上の人間関係でかなり精神的に追い込まれていたもので、「あと少しで辞められる」というのは一つの明るい希望にもなっていたんです。

もう一つは、長年の趣味で、精神的な支えでもある「踊り(洋舞)」に打ち込めるのが、肉体的にはそろそろ限界がなという思いがありました。ちょうど昨年9月のプロデュース公演への出演依頼があって、発表会以外の舞台で踊れるのはこれが最後かもしれない、ならば全力で臨みたいと思ったんです。退職後の3ヵ月間は、その舞台に向けてのレッスンに没頭できて、とても幸せでした。失業保険をもらいながらでしたしね。

本格的に再就職活動を始めたのは、その公演が終わってからです。ちょうど、リーマン・ショックで景気が悪くなり始めたときでしたので、それ以前との比較はできないものの、かなり状況は厳しいものでした。

まず、一般事務職を探しました。ハローワークでは1次的な求人票やデータに年齢制限は書いていません。よさそうだと選んだ会社の人事担当に、係りの人

が電話で問い合わせしてくれるのですが、その段階で「60歳ではねえ」とはじかれてしまう。新聞の求人チラシ広告もあたりましたが、「定年退職は60歳」と書いてあれば最初から門戸は閉ざされているし、問い合わせても「お若い方が同僚になりますから、お辛いと思いますよ」とやんわり断られて、面接までも至りません。結局、一番のネックは、年齢。資格を持っているかなんて、初めから聞かれませんし、一般事務職なんてとんでもない、という反応でした。

決定打は、辞めた会社の子会社にあたる人材派遣会社への派遣登録をそれとなく断られたことです。関連会社の事務サポートの仕事なら、経験者だし絶対にOKだろうと思ったのに、「登録してもよいけれど、60歳の求人はないと思う」と言われ、もうだめだ、と『60歳の壁』をつくづく感じました。甘かったのでしょうか、正直、驚きました。

*

そんな私を見ていて、働き始めて3年になる娘が、「もういいよ、働かなくて」と言ってくれたんです。私の悪いところでもあるのですが、その言葉について甘えてしまって、今、生活費の大半を娘に頼る結果となっています。でも、頼り続けるわけにもいかず……。そんなときに地域情報新聞で「シルバー人材センター」（以下、「シルバー」と略）の「登録をして働きませんか」という広告が目に入りました。そこで、昨年末の12月に市役所での説明会に行き登録をしたら、もう翌日には電話があって、今の仕事に派遣されることが決まりました。登録は60歳からですから、「シルバー」では60歳が一番若いわけです。「80歳を過ぎるとなかなか難しいんです。若い人から決まていきますね」と言われ、なんだか笑っちゃいました。

「シルバー」からの仕事は、臨時的かつ短期的な就業で、仕事の時間や内容によって交替制で働くことになっています。仕事の内容は、清掃、除草、調理、家事援助、育児支援、植木の手入れ、ふすま張りのような生活周りのものから、学習指導、大工仕事、縫製、運転などの知識や技能が必要なものまで多岐に渡り、事務などのデスクワークもわずかながらあります。その中から自分にできそうな仕事を選んで登録するのですが、掃除嫌いで料理好きの私は、「調理」を希望して登録をしました。

今、家から二駅のところにあるスーパーのお惣菜売り場の調理室で、1日4時間、週4日間、働いています。同じく「シルバー」からの方と、2人で1週間をワーク・シェアすることになっているので、もう一人の方が週3日の勤務です。初めは、「2年間ここで働けば、調理師免許の受験資格が出来るのかしら」と思

いもしましたが、それは週4日以上かつ1日6時間以上継続して実際の調理業務に従事した場合とのことで、すでに半分調理されて届く具材に手を加えて完成させるだけのお惣菜調理の仕事では望めないことがわかりました。

今の働き方は、生きがいである踊りに費やす時間を考えればちょうどよいのですが、今後の生計を考えるとベストだとは思えません。娘もいつかは結婚して独立するでしょう。「結婚してから、心配しないでいいよ」と嬉しいことを言ってくれますが、そんなわけにはいかないことは重々承知しています。ただ、ここしばらくは世間一般の状況が厳しく、60歳の壁はますます厚く高くなるように思いますので、ちょっとの間、娘に甘えて、じっくりとこれからの道を探りたいと思っています。

*

こんな私ですが、体験から得たことをいくつかアドバイスさせていただきますね。



1 「65歳定年」をおススメします

もしも今お勤めの職場で65歳まで定年を延ばせたり、定年後にも嘱託契約を結べるなら、よほどのことがない限り、そうなさることをお勧めします。再就職活動でぶつかる『60歳の壁』は、想像しているよりも、ずっと厚いですから、年金の受給額が高くなる年齢まで働き続けたいと考えるなら、今の職を手放さないほうが良いでしょう。

2 「シルバー」登録もひとつの手段

私自身、まだ若い気でいましたので、「シルバー」という年齢枠には初めは抵抗がありましたが、実はこの枠内では60歳が一番若く、チャンスがたくさんあります。お住まいの市区町村に問い合わせれば、最寄りの「シルバー人材センター」を紹介してくれますので、まず会員登録を。都道府県知事の許可を受けた公益法人で、高齢者の技能やライフスタイルに合わせた仕事を提供してくれます。

センターによっては、介護講習を無料で受けられたり、希望職種の技能講習を受けることも可能です。

ただし、臨時的かつ短期的な仕事が多く、ワークシェアをするので就労時間は比較的短く、「生活に必要な収入」の大半をここからの仕事で得るのは無理ですから、どうしてもその必要がある方には向きません。

3 会社の福利厚生はフル活用を



自分の会社の福利厚生の中身は、案外知っているようで把握しきっていないように思います。定年前に、しっかりとチェック。在職中に活用できるものがないか確認しましょう。

私の場合、退職前に人間関係で精神的に追い詰められてカウンセリングが必要なほどだったのですが、一般のクリニックに行くと1回8千円~1万円程度の費用がかかるため、少し躊躇していました。ハンドの会のお世話係さんが、無料で受けられるところを紹介してくださり、利用させていただいてとても助かったのですが、その後、会社の健保組合の小冊子を見たら、あったんです、5回まで無料で受けられる仕組みが。すぐに電話をすると条件に合うカウンセラーを紹介してくれ、5回目以降も保険適応で1回800円ほどでカウンセリングを受けることができました。

その情報に気づいたのは定年退職半年前。でも、辞めるまでフルに活用して、カウンセリングによって自分の考えを整理して答えを出すことができ、精神的に安定し、ほんとうに役に立ったと思っています。

就職支援 1 「ひとり親Tokyo」

●(財)東京都母子寡婦福祉協議会の愛称。東京在住のひとり親を対象に、東京都母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、就職の相談、斡旋を行う。パソコン講習会、就職準備講座などの開催も。

Tel.03-3263-3451。http://www.tobokyou.net/

就職支援 2 「マザーズハローワーク」

●子育てしながら就職を希望する方と、すべての女性の就職支援のために、2006年、全国12ヵ所に開設。各県庁所在地のハローワーク内には「マザーズサロン」、他に「マザーズコーナー」が順次設けられ、2009年度内には合計148ヵ所に。仕事と子育ての両立を希望する方であれば、男性の利用もOK。

●キッズコーナーがあって子連れで行きやすく、保育所や子育て支援サービス情報も手に入る。「予約による担当者制で、きめ細かい対応」を謳い、希望やニーズを踏まえた個別の求人開拓も行うため、「即」だけでなく「じっくり」転職先を探すのにも活用できる。最寄りのマザーズは、各自治体へ問合せを。

http://www.mhlw.go.jp/kyujin/mother.html

4 60歳から楽しめることを探そう

就職活動では確かに『60歳は壁』ですが、人生においては必ずしもそうではありません。60歳以上だからこそ楽しめること、ちょっとお得なサービスもありますから、積極的に情報を入手して楽しみましょう。

60歳や65歳を境目に、割引になったり無料になるものがたくさんあります。例えば、映画鑑賞料金は60歳から1,000円に、ツタヤも60歳以上の会員はレンタル料金半額です。JRや航空運賃もシルバー割引がありますし、カルチャーセンターによっては受講料が割引になることも。これは活用しなくっちゃ!!

肉体は衰えても、できること、楽しめることはたくさん見つかります。私も自分で踊ることは難しくなっても、作品を創って人に踊っていただくことは可能ですから、手始めに「空間構成」を学んで踊り創りに役立てようと、生け花を習い始めました。他にも、通信教育で料理を体系的に学び直し始めています。これは、もっと先、娘が結婚して1人暮らしになったときにだらしない生活にならないよう、定期的に同じような1人暮らしの友人を家に招いて一緒にお食事を楽しもう、という壮大な(笑)計画に基づくもの。健康と、人生に退屈しない自信だけは、たっぷりあります。

就職支援 3 「NPO法人あごら」

●ひとり親家庭の親子時間を増やすために、自宅でできる在宅ワークを支援。自宅でパソコン入力業務ができるよう、システムづくりを積極的に進める。各種データ入力の仕事(帳票、カルテ入力、会議録作成など)の紹介およびサポートを行って、すでに6年以上の実績あり。ハンドの会とも協力関係にある。

●仕事に必要な技術は、自宅でインターネットを通じて受講し(eラーニング、有料)、段階的にスキルアップできる。講座終了者は技術者登録され、「あごらデータセンター」より仕事の斡旋を受けられる。

Tel.03-3646-8923 http://npo-agora.org/

■自宅で、全国のハローワークが受理した求人情報のうち、求人企業が掲載を希望している全求人を検索できる。下記URLの「ハローワークインターネットサービス」TOPから「求人情報検索」ページを開き、希望の求人条件を入力して検索ボタンを押す。企業名が公開されている求人情報へは、直接問い合わせが可能。非公開のものは、ハローワークの窓口を通じて問合せが必要。2/25現在の求人総数は470,787件。http://www.hellowork.go.jp/

■社団法人全国シルバー人材センター事業協会(前頁)
http://www.zsjc.or.jp/rhx/index.jsp

これ

むかいさんの
知っとこ。

Vol.6

シングルママの「母子寡婦福祉資金貸付金」PartⅡ ～あなたの自治体の実態は?～

244号で掲載した「母子寡婦福祉資金貸付金」についての記事を読んだハンド会員から連絡が入りました。

「前号を読んで、勇気を持って、近くの福祉事務所に相談に行きました。対応してくれた母子自立支援員が“大丈夫でしょう”と言ってくれたので、母に保証人を頼み、申請書や必要な添付書類を揃えて申請に行くと、今度は担当者という人が出てきて、母の年齢を告げたとたん、書類も見ずに“ダメです!”と言われました」と言うのです。

その担当者は出典も書いてない半ピラの紙を出しました。そこには「連帯保証人は次の3要件を備え、最終償還日の年齢が、原則として70歳を越えていない方。①引き続いて6ヶ月以上県内にお住まいの方 ②一定の仕事をもち、または独立して生計を営んでいる方（保証債務の全てを負担できる所得のあること） ③母子福祉資金の、他の方の保証人になっていない方」と書かれていたそうです。

その会員のお母さまは75歳ですが、元公務員で年金受給額も高く、お父さまは元芸術家で、アトリエを売って自宅をバリアフリーに改築したばかり。資産やある程度の年金もあって、保証債務が負えないとはとても思えません。それでも、“ダメです!”の一点張り、で、「どうせ

返さないんでしょう。親に借りればいいんじゃないの」とでもいう態度で、持参した書類を一瞥すらしなかったそうです。

「何のための貸付金なのでしょう。中学生の子どもを保証人にして将来に借金を負わせたくはありませんし、年老いた親に借りて迷惑をかけたくありません。借りられるものなら皆、銀行から借ります!」。

厚生労働省の担当者に連絡をしたら、「75歳でも資産もあり、債務の返済能力があると思います。東京都に指導し、都から福祉事務所にとにかく書類をきちんと見て審査するよう伝えます」と対応してくれました。

この他にも、国で「ひとり親家庭への支援策」として謳っているのに自治体で機能していないもの、また、自治体でも謳っているのに実際には利用できないものがあると思います。そうした声を集め、ハンドの会として、政府に働きかけていきたいと考えています。

あなたの住む自治体ではどうでしょうか? 利用できなくて困った、または窓口がその制度を知らなかった、窓口の対応で嫌な思いをしたなどの体験について、または反対に、自分の自治体では役に立つ独自の制度がある等々、ハンド事務局へご連絡下さい。

弁護士110番

モラルハラスメントに、もう耐えられない

Q 結婚して6年、5歳と2歳の息子がいます。上の子が生まれてから夫の暴言や無視が始まり、ストレスで神経性の病気になる、1ヶ月に1週間位は実家に戻って、通院したり、子どもたちを遊ばせるようになりました。

1年前に別居しましたが、夫が同居を求めて調停を申し立てました。1度は家に帰りましたが、相変わらずモラルハラスメントがひどく、「おまえは実家依存症状だ」と殴られ、また実家に戻りました。

夫は、調停でも「妻は実家に依存している。実家に戻ってばかりいないで、家のことをきちんとしてほしい」と主張しています。調停委員には、モラルハラスメントを理解してもらえません。

5歳の息子を夫に会わせたら、怖がって泣いて帰ってきたのに、夫は調停で「子どもは自分と別れるのが嫌だと泣いた」と言い、面接交渉を要求してきました。

どうしたら、離婚できるでしょうか。また親権や養育費は取れるでしょうか。夫に子どもを会わせたくないのですが、会わせないとけないのでしょうか。

A 暴言、無視などの内容や程度が分かりませんが、心身の病気にまでなったのであれば、DV防止法が定義している「身体的暴力に準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動」であり、配偶者からの暴力にあた

《回答者》

弁護士 段林 和江

TEL 06-6364-3014

ると言えるでしょう。目に見えない精神的暴力も、度重なれば心身への悪影響は無視できません。まして、殴られたとなれば、同居は困難ではないでしょうか?

あなたが離婚を求めるには、夫側の同居の調停を不成立とし、改めてあなたのほうから離婚調停を提起する必要があります。ただし、夫が円満調停を求めるとなれば、離婚調停も不成立となり、あとは裁判で解決を求めなければなりません。

親権者は、今までの監護の実態、現にあなたが2人を養育していることや、お子さんの年齢が低いことなどから、あなたが親権者に指定される可能性が高いと考えます。養育費は、夫の年収、あなたの年収、子どもの人数などから、家裁が使用している算定表に基づいて決定されます。概算は算定表を見れば分かります。

また、面接交渉は、あなたの夫に対する感情によるのではなく、お子さんと父親との交流、が子どもの福祉という観点から望ましいかどうかで決めなければなりません。子どもが父親を怖がっているとか、虐待の危険があるなどの事情があれば、面接の制限を求める調停を起すなどの手段があります。ただし、母親の感情だけで面接を妨害したりすることは、離婚前だと親権の侵害、離婚後だと面接交渉権の妨害ということ、不法行為になりかねませんので、注意が必要です。

告知板

●近々の会合やイベントのお知らせです。
※申し込みや問い合わせ方法です
★お世話係さんから寄せられた近況報告です。



事務局便り

大阪:

FAX

TEL

TEL 03-3261-1835(東京事務局)

大阪ニッコニコ離婚講座

原則、午後1時半～4時半、ドーンセンター(大阪市中央区大手前1-3-49
TEL 06-6910-8500)で、申し込み不要。

参加費は、講座:1500円、ミニ講座:500円
●4月4日(土)講座

テーマ:「離婚に関する法律」

講師:弁護士 竹川幸子さん

離婚係争中の人、迷っている人にとって、決断の拠り所となる法的な情報を分かりやすくお話しいただきます。別居期間中の婚姻費用分担、子の親権者・監護権者、養育料、財産分与、慰謝料、調停、裁判、等々。

例会

原則、奇数月の第4土曜日の午後。

竹川法律事務所(大阪市淀川区西宮原1-4-15-602 TEL 050-5803-8840)

またはドーンセンター小会議室。

※変更の可能性があるのでご確認を。

●3月28日(土)午後1時半～

竹川法律事務所

★不況の嵐が吹き荒れています。会員さんから会社のリストラ情報が届いていますが、私の職場でも今月から休業・賃金カットが実施されています。社員全員が月4日休業して、その分賃金カットするという措置です。経済的な影響だけでなく、気分的に暗くて重たく希望の灯が見えないというのは、つらいものです。Positiveにと心がけているつもりですが、何か明るい話題が欲しいですね。

東京:事務局

※要申込:前日18時までに事務局

TEL 03-3261-1835

E-mail: info@gendai-kazoku.jp

離婚&母子家庭お役立ちセミナー

●3月14日(土)「女性と雇用問題」

今回は特別講座です。詳細は3面で!

香川:

TEL

★娘が5月に結婚することになり、ウェディングドレスとお色直しのドレス、それに小物も縫っています。袋物以外の大物は中学校以来、という無謀な挑戦ですが、あとひと息のところまで来ました。材料費は2着分でも6万円程度ですが、人件費を考えると借りたほうが楽だったかもしれません。仕事を終えて毎日2時ごろまで作業をして、作業時間がすでに150時間を越えました。まだ数十時間はかかりそうです。でも、子育て卒業のセレモニーのようで、毎日がとても楽しくて充実しています。肩はバリバリに凝っていますが…。

※3,4月は特に会合などの予定はなし。

各地のお世話係

★困ったとき、何か楽しいことがしたいとき、お気軽に連絡を♪

仙台:

埼玉:

埼玉:

東京:

メ:

静岡:

愛知:

広島:

福岡:

熊本:

長崎:



Letter Box ～借りる姿勢も大事～

母子家庭になって8年になる者です。

いつも、楽しみに拝読しております。

244号にありました。母子寡婦福祉資金に関して、私の感じる事を申し上げます。

役所の怠慢も多いと思いますが…借りる側にもやはり、借りる意識が大切だと思います。大学の費用等に莫大な金額を借り、返してない人が沢山いる事は残念ながらもたしかです。ハンドの中にそんな人がいるとは思いますが、役所の税金だから逃げればいいのか、とあからさまに話す人、借りたお金を学費に使

わず別のものに使ってる人、借りるために嘘をつく人も…。

借りるときには、やはり返済を考えて借りる必要はありますよね。何年後にいくらの返済になるのか、就職後子どもが払うのか、もし払えなかったらどうするか…。子どもにもきちんと自分が借金を背負う事を理解させてから借りるべきだと思います。厳しいでしょうか? 真面目な人が馬鹿をみる貸付はやめてほしいと役所の人にはお願いしたいです。

(匿名希望さん)

★一人で悩まず、気軽にお電話ください★

離婚と母子の110番 TEL 03-3261-1835

●基本的に毎土曜日:13～17時

※研修を受けた相談員が“無料”で相談を受けています。

面接相談(要予約)

●原則 第1・第3土曜日:14時～と15時半～

※料金:5,000円/50分(ただし2日前の木曜日から、キャンセル料2,500円が発生します)

※3月は7日、21日、4月は18日を予定しています。

※事務局(TEL 03-3261-1835)までご予約ください。

<購読料について>

購読料は次のいずれか。自己管理のもと、期限切れの際にお振込みください。

①1年間3,600円(送料共) ②2年間まとめて前払いの場合、7,200円を6,000円に。 ③出世払い もしくは免除(どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください)

[振込先]各地の郵便局にて00140-6-120542 ハンド・イン・ハンドの会

ハンドからみなさんへ発信

ハンド・イン・ハンドの会 公式HP:

http://www.gendai-kazoku.jp

円より子ネット:http://www.madoka-yoriko.jp